

教科 図画工作科		学年 第5学年	
題材名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
季節を感じて	4	知 季節の感じが出るように色使いや筆使いを工夫しよう。	外に出て季節を見たり感じたりすることから、身のまわりにある奥行きや色の鮮やかさを理解している。季節の感じが出るように色使いや筆使いを工夫して表している。
		思 季節から受けたイメージを大切に、表し方を考えよう。	季節から感じたことをもとに自分のイメージを大切に、どのように主題を表すか考えている。
		学 季節の感じを味わい、たのしく描こう。	季節の感じを味わい、主体的に絵に表わそうとしている。
みんなでたのしく、「ハイ、ポーズ」	2	知 ねじったりひねったりして、動きのあるポーズを工夫しよう。	ねじったりひねったりすることから、立体の動きやバランスを理解している。粘土をねじったり塊からひねり出したりするなどして、動きのある表し方を工夫している。
		思 動きをとらえ、表したいポーズを考えよう。	動きやバランスなどの造形的な特徴をもとに、自分のイメージをもちながら、表したいポーズを考えている。
		学 粘土の手触りを味わい、たのしく表そう。	粘土の手触りを味わい、主体的に動きを表そうとしている。
形を集めて (形と色でショートチャレンジ)	2	知 形の集め方や並べ方を工夫しよう。	集めたり並べたりすることから、形や色の動きやバランスなどを理解している。身近にあるものの形を生かし、形の集め方や並べ方を工夫している。
		思 どんな形を集めて、何を表すか考えよう。	形や色の動きやバランスをもとに、どんな形を集めて、何を表すか考えている。
		学 形を集めて表すことをたのしもう。	形が集まる面白さを味わい、気に入った表し方を見つけようとしている。
糸のこの寄り道散歩	6	知 板の切り方や組み合わせ方を工夫しよう。	板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解している。電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。
		思 曲線切りをした板の形から表したいものを考えよう。	切った板の形や組み合わせから表したいものを発想し、どのように表すか考えている。
		学 電動糸のこぎりで板を切ることをたのしもう。	電動糸のこぎりで板を自由に切ることをたのしさを味わい、いろいろな組み合わせを試しながら主体的に表そうとしている。
同じもの、たくさん	2	知 場所と材料の組み合わせ方を工夫しよう。	場所と材料を組み合わせることを通して、形や色、動きや奥行きを理解している。身近にあるものを材料として活用し、場所との組み合わせ方を工夫している。
		思 材料や場所、空間の特徴を生かして、できることを考えよう。	材料や場所の特徴や組み合わせから発想し、自分のイメージをもちながら活動したいことを考えている。
		学 力を合わせてたのしく活動しよう。	力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、身近な生活空間に働きかけようとしている。
動きの不思議	2	知 人の形を大きくとらえ、動きの表し方を工夫しよう。	自分の体を動かしたり描いたりすることから、人体の形や動きを理解している。人の形を大きくとらえ、体の動きの表し方を工夫している。
		思 動きをどのように生かすか考えよう。	体の動きやバランスなどの特徴をもとに、人をどのように表すか考えている。
		学 いろいろな表し方で、たくさん描いてたのしもう。	たくさん描くことをたのしみながら、いろいろな表し方をしようとしている。
わたしのおすすめ	4	知 伝えたい気持ちが伝わるように、描き方を工夫しよう。	地域にあるすてきなものやことに着目し、描くことを通して、その造形的な特徴を理解している。伝えたい気持ちが伝わるように、材料や表し方を工夫している。
		思 地域のものやことなど、表したいことを考えよう。	伝えたいことや表したいことから発想し、どのように表すか考えている。
		学 地域のよさを伝えることをたのしもう。	地域のよさを伝えることに主体的に取り組もうとしている。
見つけて！ ワイヤードリーム	6	知 針金を曲げたりつないだりすることから、動きやバランスを理解している。	針金を曲げたりつないだりすることから、動きやバランスを理解している。針金の特性を生かし、金づちやきりなどの用具を活用しながら表し方を工夫している。
		思 針金で表したい世界を考えよう。	針金を曲げたりつないだりすることから発想し、つくりたい形や仕組みを考えている。
		学 針金でつくることをたのしもう。	針金に主体的に手を加えながら、つくることのたのしさを味わおうとしている。
		知 玉の転がり方を試しながら、コースを工夫しよう。	コースのしかけによる玉の転がりから、ものの動きやバランスを理解している。玉の転がり方を試しながら、紙を折ったりつないだりしてコースのしかけを工夫している。

題材名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
コロがるくんの旅	6	思 転がると面白いコースやしかけを考えよう。	玉の転がりをもとにしかけを発想し、つくりたいコースのイメージをもちながらどのように表すか考えている。
		学 友達と協力してつくり、遊ぶことをたのしもう。	力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、主体的にコースターをつくる学習活動に取り組もうとしている。
あつたらしい町、どんな町	6	知 形や色の組み合わせを工夫しよう。	絵の具やクレヨンを使って想像した町を描くことによって、バランスや色の鮮やかさを理解している。 想像したことに合わせて、これまでの絵の具やクレヨンの経験を生かしながら形や色の組み合わせを工夫している。
		思 想像をふくらませて表したい町を考えよう。	あつたらしいなという町の具体的なイメージを想像することから、どのように表すかを考えている。
		学 表したい町を描くことをたのしもう。	想像を広げて描くことの喜びを味わい、自分のイメージを積極的に表そうとしている。
地球は大きなキャンパスだ	2	知 自然の材料と場所の組み合わせ方を工夫しよう。	自然の材料と場所との組み合わせから、奥行きや色の鮮やかさを理解している。 これまでの経験を生かし、材料や場所に進んで働きかけることから材料と場所の組み合わせを工夫している。
		思 材料や場所、空間の特徴を生かして、できることを考えよう。	材料を集めたり場所を探したりすることから、その特徴や周囲の様子を考え合わせたりしながら活動したいことを考えている。
		学 力を合わせてたのしく活動しよう。	力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、身近な生活空間に働きかけようとしている。
比べてみよう	2	知 作品のよさや違いを見つけよう。	作品のよさや違いを見つけることから、形や色、描き方など造形的な特徴を理解している。
		思 作品の似ているところや違っているところを考えよう。	作品を比べて似ているところや違うところから、表現の意図や特徴などを感じ取っている。
		学 互いの感じ方をたのしんだり、味わったりしよう。	気づいたことや感じたことを話し合うことから互いの感じ方の違いを味わい、主体的に鑑賞しようとしている。
進め！ ローラー大ぼうけん	2	知 ローラーの特徴を生かして、表し方を工夫しよう。	ローラーを使った表現を通して、形や色の組み合わせとそこから生まれるバランスや色の鮮やかさなどを理解している。 ローラーによる表現の特徴を生かして、他の材料や方法を組み合わせ表し方を工夫している。
		思 ローラーを使ってできた形や色から表したいことを考えよう。	ローラーを使ってできた形や色から想像を広げ、表したいことを考えている。
		学 ローラーを使ってたのしく活動しよう。	ローラーを使って表すことのたのしさを味わい、自分なりの表し方に取り組もうとしている。
色を重ねて広がる形	6	知 彫る形や刷る色などを工夫しよう。	版による表現を通して、色の重なりや組み合わせ、形のバランスなどを理解している。 版による表現の特徴を生かして、彫る形や刷る色などを工夫している。
		思 彫りと刷りの繰り返しから表したいことを考えよう。	彫りと刷りの繰り返しから想像を広げ、表したいことを考えている。
		学 彫り進み版画をたのしもう。	彫り進みによる表現の面白さを味わい、主体的に版で表す活動に取り組もうとしている。
だんボールで、試して、つくって	6	知 段ボールの折り曲げ方や組み合わせ方を工夫しよう。	段ボールを材料とした表現を通して、動きやバランスを理解している。 段ボールの特徴を生かし、カッターナイフなどの用具を活用しながら折り方や曲げ方、組み合わせ方などを工夫している。
		思 段ボールの特徴から表したいものを考えよう。	段ボールを折ったり曲げたりしてできた形や組み合わせから表したいものをイメージし、どのように表すか考えている。
		学 段ボールの特徴を生かして、つくることをたのしもう。	段ボールの特徴を生かしてつくることのたのしさを味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。
Myキャラが動き出す	4	知 キャラクターの動かし方を工夫しよう。	オリジナルのキャラクターでアニメーションをつくることを通して、動きを理解している。 お話をもとにキャラクターの動かし方や撮影のしかたを工夫している。
		思 キャラクターを使ったお話を考えよう。	キャラクターからお話を想像し、動かし方をどのように表すか考えている。
		学 友達と協力してつくることをたのしもう。	互いのアイデアを出し合いながら、協力してつくろうとしている。
そっと見てね、ひみつの景色	4	知 材料の使い方を工夫しよう。	材料の使い方や組み合わせ方から、空間の奥行きを理解している。 材料の形の大きさや配置の前後など、表したい景色に合わせて表し方を工夫している。
		思 箱の中をどんな場所にするか考えよう。	つくることと見ることを繰り返しながら、イメージした景色をどのように表すか考えている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎小学校

題材名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
		学 友達との表現の違いを知り、そのよさを味わおう。	互いの表現の違いやよさを味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。